

第4学年1組 学級活動(2)(キャリア教育)指導案

市教研キャリア教育部会
指導者 稲生 明尚

1 題材「キラリ星みつけ」 学級活動(2)ウ 望ましい人間関係の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級は優しい児童が多く、算数の学習などでは教え合う姿が見られる。1年生の時から同じクラスなので、互いのことは比較的 Understanding している様子が見える。休み時間は、元気いっぱい外で遊ぶ児童と、あまり活発でなく室内で気の合った児童同士でおしゃべりなどをして過ごす児童に分かれる。4月から週に3回クラス遊びの日を設定しているが、昨年度までは休み時間に全員で何かをする習慣がなかったためか、口げんかが起こったり、いじけて怪訝そうな顔を浮かべている児童がいたりして、まだ上手に遊べているとは言えない。

(2) アンケート結果とその考察

質問① 自分の持ち味やよいところを知っている

質問② 自分の直したいところを知っている

質問③ 自分はまわりの人の役に立っていると思う

質問④ 自分はまわりの人の役に立ちたいと思う

質問⑤ まわりの人が自分のことをどう思っているのか知りたい

質問⑥ 自分の持ち味やよいところはどんなところなのかをもっと知りたい

1:当てはまらない 2:どちらかといえば当てはまらない
3:どちらかといえば当てはまる 4:当てはまる

番号	性別	質問①	質問②	質問③	質問④	質問⑤	質問⑥	備考
1	女	2	3	2	3	4	4	
2	男	4	4	2	3	2	3	
3	男	1	3	1	3	3	1	
4	男	1	4	1	2	1	4	
5	男	2	1	2	2	1	1	
6	女	2	3	1	4	1	1	
7	男	3	4	2	2	2	3	
8	男	1	4	1	3	1	1	
9	男	1	4	1	3	1	1	
10	女	2	2	2	2	2	2	
11	男	3	3	4	4	2	4	
12	男	2	2	2	4	3	2	
13	男	2	4	1	3	2	3	
14	男	3	4	3	4	4	3	
15	女	2	2	3	4	4	4	
16	男	2	3	2	4	1	3	
平均		2.1	3.1	1.9	3.1	2.1	2.5	

考 察

質問①と質問②は、自分の長所や短所を知っているかの調査である。本学級の児童は、自分の持ち味やよいところは、あまり理解していない、もしくは自信がもてていないと考えられる。一方で、自分の短所はよく知っていて、直したいと考えている児童が多い。これは、今までの経験から、学校や家庭で「ここができていない。」「ここを直しなさい。」と言われることは多かったのに対し、「君のこんな点が素晴らしい。」「ここはよくがんばっている。」と認められることが少なかったことが考えられる。そこで、本題材では、最初に自分の性格の傾向についての自己評価を行い、後から、友達が評価してくれたものとじっくり比べられるようにしたい。自分の意外な一面を発見し、友達が認めてくれていることに気付けば、新たに見つけた自分の長所を伸ばしていきたいと考えるのではないかと考える。また、自分の評価と友達が評価してくれたものが同じようなものであっても、改めて自分の長所を確認し、自信がもてるようになるのではないかと考える。

質問③と質問④は、児童がまわりの人の役に立てているか、今後は人の役に立ちたいか、の調査である。これは、まわりの役に立てていると考える児童の割合が $1.9/4$ ポイント、まわりの人の役に立ちたいと考える児童の割合が $3.1/4$ ポイントとなり、大きな差があることがわかった。本学級の児童は、現在はまわりの人の役に立てていないと考えているが、今後は役に立ちたいと考えているのである。この結果を受けて、本題材の本時は、児童が自分の持ち味やよいところを見つけることをねらいとして活動するが、事後の学習も大切にしていきたいと考えた。事後では、発見した自分の持ち味やよいところを生かし、学級の中での役割やがんばりたいことについて考えさせたり、決めた目標に向かって取り組んだりする活動をしていく。その中で、友達から感謝されたり、目標を達成したりすれば、児童は人の役に立てていることを自覚し、自己有用感が高まるのではないかと考える。

質問⑤と質問⑥は、児童が自分のことをもっと知りたいかについての調査である。質問⑤の、まわりが自分をどう思っているか知りたいか、という調査では、 $11/16$ 名の児童が「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と答えている。本学級の児童は、まだ周りからの評価をあまり気にしていない傾向が見られた。一方で、質問⑥の、自分の長所をもっと知りたいか、という質問に対しては、 $9/16$ 名の児童が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しており、自分の長所をもっと知りたいと考えている児童が多いことがわかった。

最後に、個人ごとに見ていきたい。本題材を設定したのは、下の理由に示した通り、児童の自己有用感を高めたかったからであるが、特に3・4・8番への思いが強かった。3人の実態調査の結果を見ると、質問①～④においては、同じような傾向がみられる。自分の長所はよくわからないが、自分のだめなところは知っている。まわりの人の役には立っていないと思っているが、役に立ちたいとは思っている。自分に自信がないのだ。予想していた通りの結果となった。本題材を通して、自己有用感を高めたいと考える。また、今回の実態調査から新たに気になったのが児童5と10だ。2人とも全ての質問に「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」と回答している。自分の長所も短所もあまりしらないが、特に知りたくはない。また、まわりの人の役に立てていないと思うが、特に役に立ちたくもない、と読み取れる。そのような児童がいることも念頭に入れ、本題材の学習が全ての児童にとって有用なものになるよう、手立てを考えていきたい。

(3) 題材設定の理由

自分のよさを知るためには、自分自身と向き合い、自分のことを深く考え、自分自身を知らなければならぬ。自分のよさを自分で知ることが難しく、自分で気づくことができなかつたり、気づいても自信がもてなかつたりすることが多い。そのため、自分のよさに気づき、まわりの人の役に立てているという自己有用感をあまり感じられずに生活している児童が多くいることがアンケート調査からわかる。そこで本題材では、自分のよさに気づくことを目標とする。また、自分のよさを学級のみんなのために役立てることの意義を考えさせたり、自分のよさを生かしたりしながら、学級がさらによくなるためにできることを自己決定し、実践させる。そのことから自己有用感を味わわせることができるようにしたいと考え、本題材を設定した。

(4) キャリア教育との関わり

中教審では、「アクティブ・ラーニング」の視点が重要視されている。学習内容や生活上の諸問題について、児童が自ら問いを見つけ、追究し、友達や社会との豊かな相互関係を通して自分なりの意見をもてるように指導することが求められている。アクティブ・ラーニングを推進するには、児童の学習意欲を向上させることが大切である。その上で、意識して取り組みたいのがキャリア教育である。国立教育政策研究所が出している「キャリア教育が促す『学習意欲』」（平成26年度）によると、キャリア教育の充実度が高い小学校は、充実度が低い小学校に比べて、児童の学習意欲向上の認識率が35.4ポイント高いとある。キャリア教育の充実は、アクティブ・ラーニングを推進するための大きな手助けとなると確信している。

また、本題材で重視しているのが、児童が自己有用感をもつことである。自己有用感とは「他者の存在を前提として自分の存在価値を感じることで、誰かの役に立てたという成就感や誰かから必要とされているという満足感のこと。」（「生徒指導支援資料3」国立教育政策研究所生徒指導研究センター、平成23年6月）である。児童が自己有用感をもって過ごせば、児童の主体的な活動が増えてくるのではないかと考える。児童の自己有用感を育む上で、深く関わってくるのがキャリア教育の4つの基礎的・汎用的能力の中の「自己理解・自己管理能力」である。これは、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について考えて把握すること。自分自身の感情や行動をコントロールし、意欲や目的意識を保つ力である。

本題材では、児童が自己理解を深めることで自らの良さに気づき、自己を管理して行動することで自己有用感を獲得できるよう支援したい。

3 指導に当たって

① ワークシートについて

「自分のよさはどこか。」と聞かれると、大人でもすぐに答えることは難しい。そこで、本題材では、友達からの評価をもとに、自己理解につなげられるようにする。また、児童が選び出す項目について、「足が速い」「文字が丁寧」などと具体的なものを入れてしまうと、同じ項目にばかり評価（星）が集中してしまい、新たな発見が少なくなってしまうことが予想される。そこで、項目については「やさしさ」「明るさ」などの抽象的なものに留め、なぜ友達のそこに星を入れたのかは、理由を書けるようにしておく。

星の数については、全員一律で10個と制限しておく。本題材の目指すものが、1人1人が、自分にはどんな持ち味があるのかを知るためだからである。また、評価する相手については、誰が誰について評価するのかをわからないようにしてそれぞれが3人程度に行うようにしたい。誰が自分について評価してくれているのかわくわくして学習に取り組めたり、後から評価されたワークシートを見る時によりうれしい気持ちになったりすると考えられるからである。よって、評価する相手については、当日に担任がランダムに発表する。

② 題材の道すじについて

本題材の学習では、事前・事後の指導が非常に大切になると考える。本時では、友達の評価をしたり、友達が書いてくれたワークシートと自己評価を比べたりして自己理解につなげる。そのためにもまず事前の活動では、やり方を確認し、自己評価に真剣に取り組ませたい。導入時に全員で担任について評価する活動などを取り入れながら、楽しくやり方を確認する。また、自己評価の時には、自分について深く考えられるよう時間を十分にとっていききたい。その中で、自分については評価しにくいことも感じられるようにする。

事後の指導では、本時で行った活動が生きるよう、見つけた自分のよさや持ち味を今後の学校生活においてどう生かしていくのかを考えさせる。その際、ワークシートを用意し、これから何をどのようにがんばっていくのかを具体的に書かせ、教室に掲示することにより、今後の励みとなるよう工夫する。

4 評価規準

(1) 本校の特別活動の評価規準

観点	集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価 規 準	学級や学校の集団や事故の生活に関心を持ち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとする。	集団の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践している。	集団活動の意義、よりよい生活を築くために集団として意思をまとめる話し合いの仕方、自己の健全なあり方などについて理解している。

(2) 本題材におけるキャリア教育に関わる評価規準

人間関係形成・ 社会形成能力	自己理解・ 自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング 能力
<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところを認め、気持ちや考え方を理解しようとしている。 <p>(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところや持ち味を見つけることができる。 <p>(事前・本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組んでいる。 <p>(事後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価と友達からの評価を比べ、自己発見につなげることができる。 <p>(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割や持ち味を理解し、学級の中で生かそうとすることができる。 <p>(事後)</p>

5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法【 】 (キャリア教育は[])
<ul style="list-style-type: none"> ・「きらり星みつけ」のやり方について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生について星をつける活動を通して、活動内容がわかりやすく伝わるようにする。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に楽しみながら参加し、真剣に星をつけている。 <p>(観察・ワークシート)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさや持ち味について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分について深く考えられるように、時間を十分にとる。 ・後から友達がくれた評価と比べられるよう、星をつけた理由も書いておくよう指示する。 	<p>[自己理解・自己管理能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところや持ち味を見つけることができる。 <p>(観察・ワークシート)</p>

6 本時のねらい

自分のよいところや持ち味を見つけ、自己有用感をもつことができる。

7 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法
導入	<p>1 事前アンケートを基に、先生のおさや持ち味について考える。</p> <p>2 前時の活動を想起し、本時の活動内容を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えてつけてくれた星に感謝し、これから自分ががんばりたいことについて話す。 ・本時の活動について説明し、児童が意欲をもって取り組めるようにする。 	事前アンケートの結果	
展開	<p>3 友達のよさや持ち味について考え、星をつける。</p> <p>4 友達がくれた星と、事前に自分がつけていた星を比べ、自分のよさや持ち味について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか星がつけられない児童には、具体的な場面を思い出すように助言する。 ・早く終わった児童には、星をつけた理由をくわしく書くように助言する。 ・なぜ星がもらえたのか、自分の言動を思い出してみるよう助言する。 	<p>友達評価用ワークシート3枚</p> <p>自分用ワークシート</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところや持ち味について真剣に考えている。(観察) <p>[人間関係形成・社会形成能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところを認め、気持ちや考え方を理解しようとしている。(友達評価用ワークシート) <p>[課題対応能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価と友達からの評価を比べ、自己発見につなげることができる。(自分用ワークシート)
終末	<p>5 学習の感想とこれからがんばりたいことを書く。</p> <p>6 書いた感想を発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「うれしかった」「楽しかった」だけでなく、なぜそう感じたのかを具体的に書けるようにする。 ・次時につながる発表については積極的に取り上げておく。 	振り返りカード	<p>【自己理解・自己管理能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところや持ち味を見つけることができる。(振り返りカード) <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところや持ち味を見つけ、自己有用感をもつことができる。(観察・振り返りカード)

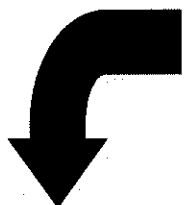
8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動をもとに、自分のよさや持ち味について考える。 ・学級の中での自分の役割について考え、これからがんばりたいことややりたいことをワークシートに書く。 ・書いた内容について話し合う。 ・書いた内容について実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか自分のよさが見つけられない児童については、前時で友達からもらった星をもとに一緒に考えるようにする。 ・「こういう場面でこうしていきたい」のように、なるべく具体的に書くよう助言する。 ・これからがんばろうとする児童をみな称賛し、今後の意欲となるようにする。 ・児童が今後、自己有用感をもって過ごせるような話をする。 ・がんばっている児童を取り上げ、称賛する。 	<p>[キャリアプランニング能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割や持ち味を理解し、学級の中で生かそうとすることができる。(ワークシート) <p>・</p> <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践している。(観察) <p>[自己理解・自己管理能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組んでいる。(観察)

キラリ★みつけ (自分用)

名前 ()

① 自分のよさ・持ち味を10個えらんでぬりましょう。



②星をつけた理由を書こう

- おもしろい星
- がんばり星
- やさしい星
- しょうじき星
- 明るい星
- まじめ星
- たよれる星
- やる気星
- めんどろみ星
- リーダー星
- 元気星
- ていねい星
- はたらき星

③かんそう (友達が書いてくれたものと比べてみて)

④これからがんばりたいこと (できるだけぐたいてきに書こう)













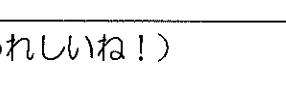


キラリ みっけ (友達用)

○名前 ()

●書いた人の名前 ()

友達^{ともだち}のよさ・持ち味^{もぢあじ}を10個えらんでぬりましょう。

- おもしろい星 
- がんばり星 
- やさしい星 
- しょうじき星 
- 明るい星 
- まじめ星 
- たよれる星 
- やる気星 
- めんどろみ星 
- リーダー星 
- 元気星 
- ていねい星 
- はたらき星 



星をつけた理由 (ぐたいてき^{ぐたいてき}に書くと、もらった人がうれしいね!)

キラリ みっけ (先生用)

○名前 ()

先生のよさ・持ち味を10個えらんでぬりましょう。

- おもしろい星・・・・☆ ☆ ☆
- がんばり星・・・・☆ ☆ ☆
- やさしい星・・・・☆ ☆ ☆
- しょうじき星・・・・☆ ☆ ☆
- 明るい星・・・・☆ ☆ ☆
- まじめ星・・・・☆ ☆ ☆
- たよれる星・・・・☆ ☆ ☆
- やる気星・・・・☆ ☆ ☆
- めんどろみ星・・・・☆ ☆ ☆
- リーダー星・・・・☆ ☆ ☆
- 元気星・・・・☆ ☆ ☆
- ていねい星・・・・☆ ☆ ☆
- はたらき星・・・・☆ ☆ ☆

星をつけた理由

平成28年度 千葉市教育研究会 キャリア教育部会

11月例会

特別活動（キャリア教育）学習指導案

1 展開日時 平成28年11月15日（火）

(1) 研究授業 14:00～14:45（4年1組教室）

(2) 協議会 15:00～16:20（図書室）

2 展開学級 4年1組

3 授業者 稲生 明 尚

花三小の先生方

本校を会場として使っていただきます。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願います。また、お時間があれば、いろいろご指導いただければと思います。

稲生

千葉市立花見川第三小学校